

# ナンバー・ナンダー

英国

の

2017年11月

の

製造業PMI

です

58.2

英調査会社のIHSマークイットと英公認購買部協会(CIPS)が12月1日に発表した11月の英製造業PMI(購買担当者景気指数)は58.2と、前月の56.6から1.6ポイント上昇し、市場予想の56.5を上回りました。英国のEU(欧州連合)離脱交渉に対する懸念にもかかわらず、約4年ぶりの高水準となったことから、同国景気の堅調さが示されました。この他、同日に発表された11月のユーロ圏PMI改定値は60.1と、速報値(60.0)からわずかに上方修正され、1997年6月の調査開始以降で2番目の高さとなりました。

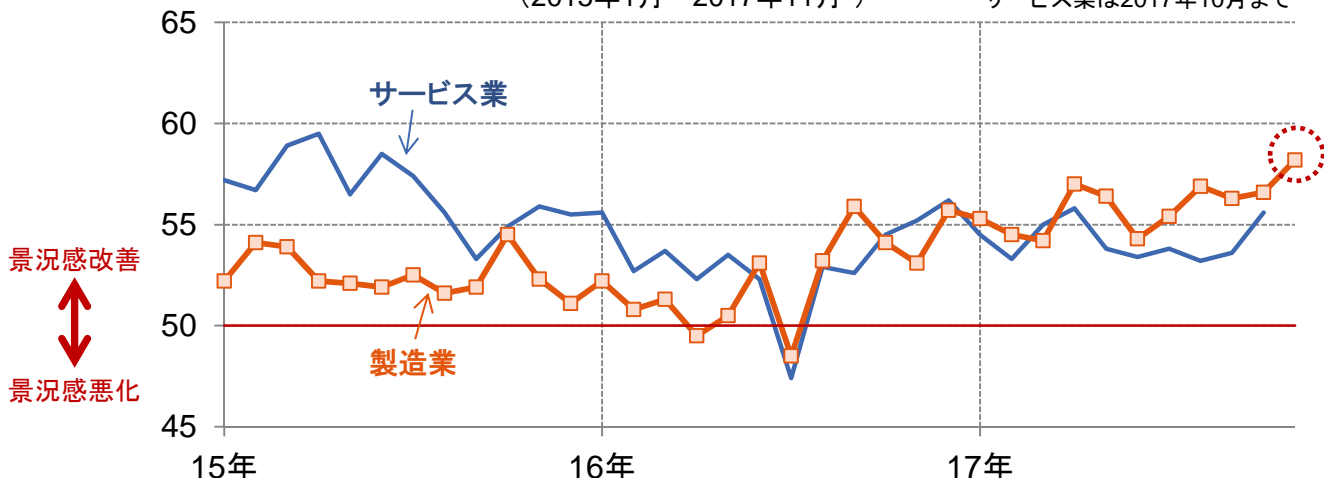
PMIは、景気の方角性を示す経済指標で、製造業やサービス業の購買担当者を対象にアンケート調査を行ない、新規受注・生産高・雇用など各項目ごとの結果に一定のウエイトを掛けて算出されます。50を超えると景気拡大、下回ると景気後退と判断されます。今後の景気回復を見込んでいる購買担当者が多いほど高くなる特徴があり、速報性の高さなどから、重要な景気先行指数の一つとして注目されています。

今回の英PMIの内訳をみると、英国の輸出先の約5割を占めるEUの堅調な経済成長などを背景に、輸出向け受注の前月比上昇率が過去6年半で最高レベルとなったほか、新規受注も約4年ぶりの高水準になっています。こうした受注増を背景とした英国国内の工場での生産の伸びが、雇用の増加にもつながっているとみられます。英国の景況感の回復が持続するか見極めるうえで、今後の同指標の推移が注目されます。

## 英国のPMIの推移

(2015年1月～2017年11月\*)

\*サービス業は2017年10月まで



出所: IHSマークイット、CIPS

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。